

ピンク色の網掛けで示した箇所は令和2年3月改訂の際に追加した取組です

No	プロジェクト名	取組名	実施内容	事業期間								KPI(重要業績評価指標)								外部有識者の意見 (岸和田市総合戦略に係る事業効果検証等アドバイザーミーティングにおける意見)									
				H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	指標内容	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (年度)										
1	市民自治都市 岸和田プロジェクト	自治基本条例の啓発・普及	自治基本条例の趣旨普及									自治基本条例の認知度	32.5% (H27)	30.3% (H28)	28.2% (H29)	31.0% (H30)	29.5% (R1)	29.9% (R2)	35.0% (R4)	・KPIは未達であるが、取組についてはKPI達成に寄与するものである。ただし、普及については引き続き検討の必要がある。 ・事業自体が評価対象としてなじまないのではないか。総合計画としては該当すると思うが、総合戦略にはそぐわない。									
			条例普及マンガの作成(市立産業高等学校の生徒による作成)									講座等により条例を学習した市民の数	なし	156人 (H27)	118人 (H28)	138人 (H29)	633人 (H30)	607人 (R1) 1,652人 (R1累計)	4,600人 (R4累計)										
			デジタル教材・プリント教材の作成									※今後の検討内容をふまえ、後年度に設定																	
2	市民自治都市 岸和田プロジェクト	市制施行100周年記念事業の実施	ロゴマーク、キャッチフレーズの募集・決定									※今後の検討内容をふまえ、後年度に設定								・意見なし									
			プレイベント実施									※今後の検討内容をふまえ、後年度に設定																	
			記念事業の実施									※今後の検討内容をふまえ、後年度に設定																	
3	出産・子育て支援プロジェクト	安心して出産できる医療体制の整備	市民病院における産婦人科の充実(分娩手当+奨学金助成)									分娩数	58件 (H26)	146件 (H27)	117件 (H28)	131件 (H29)	148件 (H30)	141件 (R1) 683件 (R1年累計)	1,157件 (R4年累計)	・アウトカム視点でのKPI設定の追加も可能ではないか。(例.市民病院が充実していると感じる市民の割合(20~40代)など)									
4	出産・子育て支援プロジェクト	妊産婦・新生児・乳児への訪問・相談	ママにっこり相談									相談件数	なし	なし	923件 (H28)	1,649件 (H29)	1,877件 (H30)	4,313件 (R1)	4,500件 (年間延べ件数)	・ニーズに応じたサービスが提供されており、着実に増加している点が評価できる。 ・アウトカム視点でのKPI設定の検討も必要ではないか。(例.子どもを産み育てやすいと感じている市民の割合(20~40代)など)									
			フォロー訪問指導の実施										なし	なし	923件 (H28)	1,649件 (H29)	1,877件 (H30)	4,313件 (R1)	4,500件 (年間延べ件数)	・ニーズに応じたサービスが提供されており、着実に増加している点が評価できる。 ・アウトカム視点でのKPI設定の検討も必要ではないか。(例.子どもを産み育てやすいと感じている市民の割合(20~40代)など)									
5	出産・子育て支援プロジェクト	健診未受診者に対する訪問	乳幼児健診未受診者家庭を訪問									未受診者訪問割合	なし	100% (H27)	100% (H28)	100% (H29)	100% (H30)	100% (R1)	100% (R4)	・引き続き漏れがなく、100%を維持していく必要がある。 ・アウトカム視点でのKPI設定の検討も必要ではないか。									
6	出産・子育て支援プロジェクト	子どもの医療にかかる費用に対する助成を継続	対象年齢の拡充(中学校3年生まで)									子育て家庭の不安や負担の軽減対策に対する市民の満足度 (市民意識調査の満足度調査の数値を指標として活用。満足度とは、満足率(『満足』『まあ満足』と回答した人の割合)から不満率(『不満』『やや不満』と回答した人の割合)を差し引いた数値。)	-15.5% (H26)	-10.2% (H28)	-10.6% (H29)	-10.7% (H30)	-8.6% (R1)	-6.3% (R2)	現状維持 (-10.7% (R4))	・子育て世代のニーズが高く、引き続き現状の取組を継続していくことが重要。 ・満足度は上昇傾向であるが、取組内容じたいは変わっていないことから、他の要因の影響で子育て家庭の不安や負担が軽減した可能性もある。									
			医療費助成の実施									子育て家庭の不安や負担の軽減対策に対する市民(20~40代)の満足度	-20.9% (H26)	-14.5% (H28)	-13.0% (H29)	-14.0% (H30)	-13.5% (R1)	-11.2% (R2)	現状維持 (-14.0% (R4))	・子育て世代のニーズが高く、引き続き現状の取組を継続していくことが重要。 ・満足度は上昇傾向であるが、取組内容じたいは変わっていないことから、他の要因の影響で子育て家庭の不安や負担が軽減した可能性もある。									

No	プロジェクト名	取組名	実施内容	事業期間								KPI(重要業績評価指標)								外部有識者の意見 (岸和田市総合戦略に係る事業効果検証等アドバイザー会議における意見)	
				H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	指標内容	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R4)	目標値 (年度)	
7	出産・子育て支援プロジェクト	様々なニーズに対応する保育環境の整備	教育・保育施設の整備									保育所待機児童数	42人 (H27.4 .1)	31人 (H28.4 .1)	23人 (H29.4 .1)	39人 (H30.4 .1)	29人 (H31.4 .1)	27人 (R2.4 .1)	0人 (R4)		・待機児童数を減らすため、引き続き重点的に取り組むことが必要。
			民間保育施設の運営支援									病児保育施設の利用登録者数	265人 (H27)	265人 (H27)	318人 (H28)	303人 (H29)	307人 (H30)	289人 (R1)	350人 (R4)		
			病児保育事業の実施									チビッコホーム待機児童数	216人 (H27)	109人 (H28)	83人 (H29)	106人 (H30)	97人 (R1)	76人 (R2)	0人 (R4)		
			チビッコホーム増設による定員拡大																		
8	教育環境充実プロジェクト	児童生徒への支援体制の充実	心理カウンセラー(5名)の配置									小学校における不登校児童の割合	0.6% (H26)	0.7% (H27)	1.0% (H28)	1.1% (H29)	1.0% (H30)	1.1% (R1)	0.4% (R4)		・基準値よりも低く、低下傾向が続いている。追加的な取組として、令和元年度に不登校児童生徒支援員の配置の取組を実施したが、令和2年度以降の実績について注視する必要がある。 ・これらの取組を実施したから不登校がゼロになるかといえばそうではない。不登校の子をかかえる親御さんからすれば、安心できる要素ではあると考える。KPIの不登校の割合が改善しなかったからといって、ただちに有効ないと判断するものではない。また、KPIについて、相談件数などの活動指標も追加したほうが実態を把握するのに有効ではないか。 ・いじめの解消率について、途中で算出方法が変更したときが、以前の算出方法を使用していると考えられるので、数値の見直しと目標値を再設定すべきである。
			エスパル指導員の配置									中学校における不登校生徒の割合	4.1% (H26)	4.4% (H27)	4.5% (H28)	5.4% (H29)	5.8% (H30)	5.9% (R1)	2.6% (R4)		
			スーパー・バイザー(精神科医)の配置									小中学校におけるいじめ解消率	72% (H26)	94% (H27)	84% (H28)	36% (H29)	53% (H30)	52% (R1)	85% (R4)		
			スクールロイヤーの配置																		
			スクールカウンセラーの配置																		
			スクールソーシャルワーカーの配置																		
			子ども支援員の配置																		
			幼稚園支援コーディネーターの配置																		
			スクールサポートターの配置																		
			不登校児童生徒支援員の配置																		
9	教育環境充実プロジェクト	特別支援教育の充実	特別支援教育支援員・介助員の配置									小中学校における支援学級等支援者(介助員+特別支援教育支援員)の数	26人 (H27)	26人 (H27)	34人 (H28)	34人 (H29)	35人 (H30)	40人 (R1)	60人 (R4)		・アウトカム視点でのKPI設定の検討も必要ではないか。(例.支援を必要とする児童・生徒に良い変化が見られたことがわかるような指標の設定など)
10	教育環境充実プロジェクト	外国語教育の充実	小中学校における英語指導の推進のため、外国人指導助手(ALT)、外國語活動補助員(小学校)の配置									英語の学習が好きと答える児童(小学生)の割合	33.9% (H25)	なし	45.6% (H28)	41.0% (H29)	44.2% (H30)	56.6% (R1)	43.5% (R4)		・意見なし
			小中学校にて英語の授業改善に向けた教育研修の実施									英語の学習が好きと答える生徒(中学生)の割合	21.4% (H25)	なし	26.4% (H28)	27.0% (H29)	29.2% (H30)	22.8% (R1)	31.5% (R4)		
11	教育環境充実プロジェクト	学校園におけるICT環境の構築	小・中学校情報システムの構築									小中学校1クラスあたりのICTを活用した授業の時間数(週平均)	約1時間 (H26)	1.37時間 (H27)	1.67時間 (H28)	1.85時間 (H29)	2.99時間 (H30)	4.22時間 (R1)	5時間 (R4)		・KPI達成に向け実績値が着実に上昇している点が評価できる。 ・日本の学校のデジタル化対応はOECD加盟国の中でも低く遅れている。一人一台端末を与えるようなICTにおける取組は、若者が国際的にも活躍していくようにするためにも加速していくなければならないと考える。早く整備することで教育環境を充実させ、社会の変化に対応していくことを期待する。
			GIGAスクール構想に基づく小・中学校ICT環境の整備									コンピューター等のICTをほぼ毎日又は週1回以上使用したと答える児童・生徒の割合【小学校】									
			小・中学校におけるICTを活用した情報教育の研究・推進									コンピューター等のICTをほぼ毎日又は週1回以上使用したと答える児童・生徒の割合【中学校】									
12	教育環境充実プロジェクト	中学校給食の実施	中学校給食の実施									中学校給食を安全に遅滞なく生徒に届けられなかった件数	0件 (H30)				0件 (H30)	0件 (R1)	0件 (R4)		・アウトカム視点でのKPI設定の検討も必要ではないか。(例.給食の満足度をかかるアンケートの実施など)
			地場農産物利用のための調整																		
13	教育環境充実プロジェクト	市立産業高等学校市民公開講座(アーチェリー講座)の実施	市民公開講座(アーチェリー講座)の実施									講座参加者数	なし	7人 (H27)	15人 (H28)	20人 (H29)	20人 (H30)	12人 (R1)	20人 (R4)		・アウトカム視点でのKPI設定の検討も必要ではないか。(例.スポーツを定期的(週1回以上)にしている市民の割合など)

No	プロジェクト名	取組名	実施内容	事業期間								KPI(重要業績評価指標)								(岸和田市総合戦略に係る事業効果検証等アドバイザー会議における意見) 外部有識者の意見
				H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	指標内容	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (年度)	
14	教育環境充実 プロジェクト	子どもたちの学力向上 に向けた取組の推進	岸和田市学力調査の実施・分析									全国学力・学習状況調査における全国正答率との差【小6国語】	▲10.8p (R1)					▲10.8p (R1)	0p (R4)	・学力向上には、継続的で地道な支援が必要である。
			授業改善アドバイザーの派遣									全国学力・学習状況調査における全国正答率との差【小6算数】	▲6.6p (R1)					▲6.6p (R1)	0p (R4)	
			放課後学習支援の実施 (小学校3~5年生対象)									全国学力・学習状況調査における全国正答率との差【中3国語】	▲9.8p (R1)					▲9.8p (R1)	0p (R4)	
												全国学力・学習状況調査における全国正答率との差【中3数学】	▲7.8p (R1)					▲7.8p (R1)	0p (R4)	
15	教育環境充実 プロジェクト	子どもの読書活動の 推進	子どもに魅力のある資料の充実									読書が好きな子どもの割合(全国平均との差)【小学校】	▲6.1p (R1)					▲6.1p (R1)	0p以上 (R4)	・意見なし
			読書活動を支える人材の確保・ 育成									読書が好きな子どもの割合(全国平均との差)【中学校】	▲9.4p (R1)					▲9.4p (R1)	0p以上 (R4)	
			学校図書館コーディネーターの派 遣																	
			ブックスタート事業																	
16	みんなで支え あいプロジェクト	みんなが集える居場 所づくり支援を検討	活動の立上げに際して、民間助 成金の紹介を行うなど自主的な 財源確保を支援(社会福祉協議 会と連携)									リビング立上げ支援件数	なし		6件 (H28)	5件 (H29)	5件 (H30)	6件 (R1)	5件/年	・毎年度KPIを達成し、取組として定着している点が評価できる。 ・地域内のつながりを強化し、地域自治の推進に寄与しているため、継続的 な取組が必要。 ・アウトカム視点でのKPI設定の検討も必要ではないか。
			活動強化に向けた手法の検討																	
17	みんなで支え あいプロジェクト	教育・子育てを通じた 協働によるコミュニ ティの強化	学校支援地域本部の実施									ボランティア数(人)	3,882 (R1)					3,882 (R1)	4,660 (R4)	・意見なし
			放課後子ども教室の実施																	
18	まちの拠点形 成プロジェクト	公共交通のあり方を 検討、利便性を向上	路線バス・コミュニティバスにIC カード等導入支援									市内で運行されているバ スの1日平均乗車人数	3,827 人 (H26)	3,861 人 (H27)	3,691 人 (H28)	3,612 人 (H29)	3,298 人 (H30)	3,159 人 (R1)	4,100人 (R4)	・事業展開をはかっているが、バス利用者の減少が続いているため、要因分析が 必要。 ・KPIの実績値において、高齢者が安心して生活できていると感じている市民 全体の割合は増加傾向であるが、生きがいを感じている65歳以上の市民の 割合は減少傾向であり乖離している。高齢者の生きがいにつながるようなコ ミュニティ交通施策の検討が必要である。 ・バスが必須な高齢者と自分で車を運転できる高齢者がいる中で、必ずしも バスがあることが生きがいにつながるというわけではない。違う指標を設定し てもよいのではないか。例えば、ローズバスや南海バスなどの路線の満足度 をはかったような指標があればよいのではないか。また、生きがいが公共交通 とどれくらいリンクするのか、因果関係が不明ではある。 ・ローズバスを利用するが、行きたい所に止まってくれないという印象である。 ・もっと岸和田城などの人が集りやすい所へのバス停を増やしてもいいの ではないか。
			交通まちづくりアクションプラン策 定									生きがいを感じている65 歳以上の市民の割合	52.6% (H27)	51.5% (H28)	47.3% (H29)	49.3% (H30)	50.8% (R1)	44.6% (R2)	49.3% (R4)	
			交通まちづくりアクションプランに 基づく事業の実施 (ローズバスダイヤ改正、利便性 向上等)									高齢者が安心して生活で きていると感じている市民 の割合	18.1% (H27)	20.7% (H28)	21.1% (H29)	22.2% (H30)	19.9% (R1)	25.6% (R2)	22.2% (R4)	

No	プロジェクト名	取組名	実施内容	事業期間								KPI(重要業績評価指標)							(岸和田市総合戦略に係る事業効果検証等アドバイザー会議における意見) 外部有識者の意見		
				H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	指標内容	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (年度)		
19	まちの拠点形成プロジェクト	JR阪和線東岸和田駅付近の鉄道高架化の実現	上下線高架化に向けた取組の実施									踏切による交通遮断時間(市道並松上松線)	9.8時間/日 (H21)	6.7時間/日 (H26 (下り線高架後))	6.7時間/日 (H26 (下り線高架後))	0時間/日 (H29 (上り線高架後))		0時間/日 (H29)		・意見なし	
			鉄道高架化に伴う付属街路及び周辺道路の整備									踏切による交通遮断時間(府道岸和田港塔原線)	9.6時間/日 (H21)	5.2時間/日 (H26 (下り線高架後))	5.2時間/日 (H26 (下り線高架後))	0時間/日 (H29 (上り線高架後))		0時間/日 (H29)			
			鉄道高架化に伴う附属街路事業用地の買収									JR阪和線東岸和田駅周辺道路等の整備率	54% (H30)				54% (H30)	90% (R1)	100% (R3)		
												付属街路事業用地の買収率	56.8% (R1)				56.8% (R1)	80.0% (R4)			
20	まちの拠点形成プロジェクト	春木駅・久米田駅周辺の利便性向上	(春木駅)周辺まちづくり基本構想の策定									春木駅の1日平均乗車人員	7,558人 (H26)	7,662人 (H27)	7,614人 (H28)	7,580人 (H29)	7,557人 (H30)	未公表	7,640人 (R4)	・意見なし	
			(春木駅)基本構想に基づく事業の実施									久米田駅の1日平均乗車人員	6,899人 (H26)	6,926人 (H27)	6,827人 (H28)	6,823人 (H29)	6,674人 (H30)	未公表	6,970人 (R4)		
			(久米田駅)周辺まちづくり基本構想の策定																		
			(久米田駅)東西アクセス改善基本構想の策定																		
			(久米田駅)東西アクセス改善基本構想に基づく事業の実施																		
21	まちの拠点形成プロジェクト	福祉総合センター敷地の利活用検討	民間事業者等の誘致(条件整理等)									民間事業者等の誘致	0社 (R1)				0社 (R1)	1社 (R4)	・意見なし		
22	まちの拠点形成プロジェクト	グリーンビレッジ構想の推進	岸和田グリーンビレッジ実施計画策定									まちづくり(育て)活動実施回数	2回 (H26)	4回 (H27)	5回 (H28)	4回 (H29)	4回 (H30)	3回 (R1)	25回 (R4累計)	・意見なし	
			岸和田グリーンビレッジ推進事業(人材ネットワークの育成、地域資源を活かした産業の創出、拠点を支える基盤づくり)									市外からの参画団体(企業・世帯)	4団体 (H26)	5団体 (H27)	2団体 (H28)	2団体 (H29)	5団体 (H30)	3団体 (R1)	22団体 (R4累計)		
												まちづくり(育て)活動参画団体数	10団体 (H28)				4団体 (H29)	7団体 (H30)	4団体 (R1)	50団体 (R4累計)	
												農業体験参加者数	10人 (H28)				0人 (H29)	0人 (H30)	0人 (R1)	60人 (R4累計)	
23	まちの拠点形成プロジェクト	丘陵地区内に農業拠点の形成	次世代施設園芸拠点構想の策定									竹有効活用に係るネットワーク組織への参画企業・団体数	14団体 (H28)				0団体 (H29)	1団体 (H30)	0団体 (R1)	15団体 (R4)	・年々、実績値を増加させKPIを達成したことが評価できる。
			岸和田丘陵フードパレーメンバーシップの推進																		
			補足水源調査																		
			竹木の有効活用方策検討																		
24	まちの拠点形成プロジェクト	ゆめみヶ丘岸和田における協働のまちづくり	各種イベント等の実施									ゆめみヶ丘岸和田における住民数	0人 (R1)				0人 (R1)	350人 (R4)	・意見なし		
25	まちの拠点形成プロジェクト	木材港の充実	木材コンビナート及び貯木場への立地ニーズ等調査・分析、関係機関との調整・PR等									調査・分析結果に基づく関係機関との協議を踏まえ、後年度以降に設定							・意見なし		

No	プロジェクト名	取組名	実施内容	事業期間								KPI(重要業績評価指標)								外部有識者の意見 (岸和田市総合戦略に係る事業効果検証等アドバイザー会議における意見)							
				H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	指標内容	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (年度)								
26	まちの拠点形成プロジェクト	山手地区のまちの姿を検討	地域の拠点づくり構想検討									住民による地域のまちづくりを考える検討会の開催回数(参加人数)	なし	2回(31人) (H27)	6回(66人) (H28)	9回(72人) (H29)	4回(40人) (H30)	7回(52人) (R1)	40回 (325人) (R4累計)	・KPIを達成に向けた各年の進捗状況が評価できる。 ・引き続き地域との協議を進めていくことが重要である。 ・アウトカム視点でのKPI設定の検討も必要ではないか。							
			地域のエリアマネジメント方策検討																								
27	まちの拠点形成プロジェクト	泉州山手線沿道のまちの姿を検討	沿道まちづくり方針の策定									地元関係者等への意見聴取、ワークショップ等の開催	なし	3回 (H27)	9回 (H28)	11回 (H29)	10回 (H30)	13回 (R1)	60回 (R4累計)	・KPIを達成に向けた各年の進捗状況が評価できる。 ・アウトカム視点でのKPI設定の検討も必要ではないか。							
			沿道まちづくり構想の策定(まちづくり基本調査など)																								
			事業化に向けた具体的な検討(区画整理事業調査など)																								
28	「ひと」を育て、「まち」を元気にプロジェクト	創業しようという者を支援	創業時の店舗等改修工事を補助									創業実現件数	なし	11件 (H27)	13件 (H28)	12件 (H29)	5件 (H30)	11件 (R1)	100件 (R4累計)	・ビジネスサポートセンターにおける支援とも重点的に連携し、KPIの達成に向け取り組む必要がある。							
			商工会議所による創業支援(創業セミナー、創業個別相談の実施)の実施																								
29	「ひと」を育て、「まち」を元気にプロジェクト	市内企業への就労機会の拡大	関係機関との連携による地元企業説明会の実施									合同企業説明会参加者数	なし	51人 (H28)	68人 (H29)	35人 (H30)	41人 (R1) 195人 (R1累計)	200人 (R1累計)	45人 (R4累計)	・コロナ禍により、就職面接会等の開催方法が変わっていくような時期である。学生と就職難の方々とを住み分け、それぞれの支援策を整理して実施していかなければならないのではないか。 ・企業によって求めている人材は様々である。より専門的な人材を求めている企業や人材の確保が急務である企業など、ニーズに対応するため住み分けで考えていくほうがよいのではないか。また、地元で働き続けることに価値を見出している若者と地元の元気な企業とを行政がマッチングできるような仕組みがあればおもしろいのではないか。 ・就職面接会の時期を2月ではなく、早めたほうが良い人材が集まる可能性が高い。10月から11月頃実施するほうがよいのではないか。							
			ハローワークとの連携による就職面接会の実施																								
30	「ひと」を育て、「まち」を元気にプロジェクト	青年新規就農者の育成	農業次世代人材投資資金(旧青年就農給付金)を給付									給付金申請者数	0人 (H26)	7人 (H27)	9人 (H28)	11人 (H29)	11人 (H30)	12人 (R1)	8人/年	・KPIを達成していることが評価できる。 ・アウトカム視点でのKPI設定の検討が必要ではないか。(例.満期まで受給した受給者のうちそれ以降で自営就農が継続できている人の割合など)							
31	「ひと」を育て、「まち」を元気にプロジェクト	産業振興制度の活用を促進	国・府・市支援制度一覧表作成									企業支援メールマガジンの登録事業者数	100社 (H28)	100社 (H28)	109社 (H29)	198社 (H30)	200社 (R1)	235社 (R4)	・意見なし								
			支援制度説明会等のセミナー開催																								
			企業支援メールマガジンの配信																								

No	プロジェクト名	取組名	実施内容	事業期間								KPI(重要業績評価指標)								外部有識者の意見 (岸和田市総合戦略に係る事業効果検証等アドバイザーミーティングにおける意見)
				H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	指標内容	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (年度)	
32	「ひと」を育て、「まち」を元気にプロジェクト	産業人材の確保・育成と企業の経営改善支援	合同企業説明会等参加支援、及び市内企業が研修会等を開催または受講する際の費用を助成  ビジネスサポートセンターの設立運営(ビジネスサポートセンター創設による岸和田イノベーション促進事業)									市外の合同企業説明会参加企業数	なし	1社 (H28)	1社 (H29)	0社 (H30)	1社 (R1) 3社 (R1累計)	32社 (R4累計)	・意見なし	
												人材育成取組事業所の数	なし	3社 (H28)	3社 (H29)	3社 (H30)	4社 (R1) 13社 (R1累計)	52社 (R4累計)		
33	「ひと」を育て、「まち」を元気にプロジェクト	「岸和田ブランド」品の販売促進	岸和田ブランドの販路拡大									ビジネスサポートセンター支援による創業件数					0社 (R1)	23社 (R4累計)	・KPIの上方修正が必要 ・アウトカム視点でのKPI設定の検討も必要ではないか。(例.自店舗以外の販売店舗拡大数など)	
												ビジネスサポートセンター支援による課題解決件数					6社 (R1)	61社 (R4累計)		
34	岸和田のええどこ教えちゃうプロジェクト	シティセールスの推進	今後のシティセールスの方向性の整理  「岸和田市シティセールス方針」に基づいた事業の推進									催事等への出展回数		7回 (H27)	13回 (H28)	17回 (H29)	19回 (H30)	17回 (R1) 73回 (R1累計)	50回 (R4累計)	・対外的な「居住意欲度」府内順位については、一定の水準を保っているので有効と思われる。しかしながら、岸和田市は誇れるまちであると感じている市民の割合は低下していることから、市内向けプロモーションに注力する必要もある。
												「居住意欲度」府内順位	13位 (H26)	18位 (H28)	11位 (H29)	8位 (H30)	13位 (R1)	5位 (R4)		
35	岸和田のええどこ教えちゃうプロジェクト	市民みんなで岸和田をPR	職員によるSNSを活用した情報発信  市民によるSNSを活用した情報発信の促進									インスタグラム投稿写真等に付けられた「いいね！」の数	なし		11,342件 (H29)	13,027件 (H30)	10,275件 (R1)	24,000件 /年	・インスタグラムの活用は、主に若者向けにも有用であり、さらなる積極的な活用が望まれる。 ・情報発信については積極的に実施しており評価できるが、「いいね！」の数が達成できていない。目に触れる機会を増やす工夫が必要である。	
												ハッシュタグ「岸和田MO DE」を付けてインスタグラムに投稿された写真等の数	なし	53.5% (H27)	52.8% (H28)	53.4% (H29)	50.2% (H30)	50.9% (R1)	55.0% (R4)	
36	岸和田のええどこ教えちゃうプロジェクト	きしわだアートプロジェクトの推進	アートによるまちの魅力創造									事業の参加者のうち、ターゲットとなる年代の人数	357人 (H26)	573人 (H27)	5,833人 (H28)	367人 (H29)	715人 (H30)	471人 (R1)	500人 (R4)	・アウトカム視点でのKPI設定の検討が必要ではないか。(例.参加者に満足度をはかるアンケートの実施など)
												事業実施回数	なし	3回 (H27)	3回 (H28)	4回 (H29)	8回 (H30)	7回 (R1)	2回/年	

No	プロジェクト名	取組名	実施内容	事業期間								KPI(重要業績評価指標)								(岸和田市総合戦略に係る事業効果検証等アドバイザー会議における意見) 外部有識者の意見
				H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	指標内容	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	目標値 (年度)
37	岸和田のええ とこ教えちゃろ プロジェクト	スポーツ振興の推進	岸和田市スポーツ推進計画の策 定									週1回以上、運動・スポー ツを実施する市民の割合	32.9% (H26)	32.5% (H28)	32.2% (H29)	31.3% (H30)	31.8% (R1)	34.8% (R2)	45.0% (R4)	・意見なし
			計画に基づく事業の実施																	
			ワールドマスターズの大会競技 (自転車競技(BMX))の誘致																	
			大会競技開催に向けた準備(受 入れ体制構築や情報発信等)																	
38	岸和田のええ とこ教えちゃろ プロジェクト	豊かな海や陸の啓 発・普及と保全	多様な生物の調査・研究と資料 収集の実施									多様な動植物が生息して いると感じている市民の 割合	22.5% (R1)	25.4% (R2)	24.0% (R4)	・意見なし				
			豊かな自然の価値を周知する展 示・普及活動の実施										9,063 人 (H30)	8,758 人 (R1)	10,000 人 (R4)					
													4,700 人 (H30)	4,318 人 (R1)	5,000人 (R4)					
39	岸和田のええ とこ教えちゃろ プロジェクト	まち歩き観光の推進	だんじり3D映像の作成									だんじり会館来館者数	36,433 人 (H26)	36,394 人 (H27)	31,712 人 (H28)	34,415 人 (H29)	32,831 人 (H30)	33,412 人 (R1)	37,000 人 (R4)	・地方創生推進交付金対象事業である、KIX泉州ツーリズムビューロー事業 で設定しているKPIにおいて、泉州地域の訪日旅行者数と消費額が増加して いるが、本KPIについては、基準値と比較してほぼ横ばいの推移である。令和 元年度は0コースであった着地型観光のコースを形成し、岸和田市への訪日 旅行者を増加させることが求められる。
			動画等を活用したPRの実施										43,397 人 (H26)	41,345 人 (H27)	38,165 人 (H28)	41,565 人 (H29)	38,500 人 (H30)	43,397 人 (R1)	50,000 人 (R4)	
			近隣市町等との連携で実施する 観光情報発信や受入環境整備等 による誘客促進(KIX泉州ツーリ ズムビューロー連携事業)										0コー ス (H28)	0コー ス (H29)	0コー ス (H30)	0コース (R1)	5コース (R4)			
40	岸和田のええ とこ教えちゃろ プロジェクト	インバウンド観光の 推進	インバウンド誘致観光動画の作 成									岸和田城におけるインバ ウンド入場者数	2,261 人 (R1)	14.8% (H28)	14.8% (H28)	13.0% (H29)	未公表	2,261 人 (R1)	10,000 人 (R4)	・コロナウイルス感染症問題により、インバウンドは大幅に減少している。今 後、数年間はインバウンド顧客が見込めないとの予測もある中、継続して觀 光推進を推進していくのなら、ターゲットをインバウンドから他(国内顧客など) へ変更する等、政策内容を変更する必要があるのではないか。 ・コロナ禍の状況の中、経済をまわしていくかなければならないと考えると、國 内の日本人・外国人に向けた施策を実施していくことが重要ではないか。
			効果的な集客のための調査・検 証及び試行																	
			情報発信による認知度のさらなる 向上																	
41	地域の安心・ 安全プロジェクト	防犯カメラの設置	防犯カメラを設置する町会等への 補助									防犯カメラの設置箇所	72箇所 (H26)	112箇 所 (H27)	167箇 所 (H28)	220箇 所 (H29)	272箇 所 (H30)	324箇 所 (R1)	327箇所 (R4)	・意見なし
42	地域の安心・ 安全プロジェクト	市内木造住宅の耐震 化	耐震化に関する啓発・広報活動									耐震診断補助戸数	69戸 (H26)	66戸 (H27)	80戸 (H28)	43戸 (H29)	73戸 (H30)	29戸 (R1)	50戸/年	・意見なし
			耐震診断・耐震改修工事費に 対する補助金の交付																	
			耐震シェルター設置費に対する 補助金の交付										24戸 (H26)	29戸 (H27)	27戸 (H28)	16戸 (H29)	15戸 (H30)	18戸 (R1)	23戸/年	
			旧耐震基準(昭和56年5月以前) の木造住宅の除却費に対する補 助金の交付																	
			ブロック塀等の撤去に対する補 助金の交付																	

No	プロジェクト名	取組名	実施内容	事業期間								KPI(重要業績評価指標)								外部有識者の意見 (岸和田市総合戦略に係る事業効果検証等アドバイザー会議における意見)
				H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	指標内容	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (年度)	
43	地域の安心・安全プロジェクト	空家等対策の推進	空家等対策計画の策定									不良空き家除却補助件数	なし					7件 (R1)	7件/年	・アウトカム視点でのKPI設定の検討が必要ではないか。(例:空き家除去後の利活用件数の割合など)
			不良空き家の除却費に対する補助金の交付																	
44	地域の安心・安全プロジェクト	地域の自主防災力の向上	防災福祉コミュニティの活動支援									防災福祉コミュニティ主催地域防災訓練実施割合	21.4% (H25)	78.7% (H27)	75.4% (H28)	65.2% (H29)	52.8% (H30)	55.7% (R1)	100% (R4)	・意見なし
			防災資機材の整備に対する補助金の交付																	